E-Guardian
We Guard All

News Release

報道関係者各位

2018 年 4 月 4 日

イー・ガーディアン株式会社

サイバーセキュリティ対策のプロフェッショナル集団　EG セキュアソリューションズ

新サービス「スマートフォンアプリケーション脆弱性診断」提供開始

～脆弱性診断で培ったノウハウを活かし、スマホアプリを起因としたセキュリティ事故を防止～

イー・ガーディアン株式会社（http://www.e-guardian.co.jp/ 東京都港区 代表取締役社長：高谷 康久　以下、「イー・ガーディアン」）の子会社である EG セキュアソリューションズ株式会社（https://www.eg-secure.co.jp/ 東京都港区　代表取締役：徳丸 浩　以下、「EG セキュアソリューションズ」）は、スマートフォンアプリケーションのセキュリティホール（セキュリティ上の弱点、脆弱性）を発見・検出する新サービス「スマートフォンアプリケーション脆弱性診断」の提供を 2018 年 4 月 4 日（水）より開始いたします。

EG Secure Solutions

近年、インターネットを利用した各種サービスの普及に伴い、Web サイトやサーバの脆弱性を狙った攻撃などを起因とするセキュリティ事故が増えております。日々誕生するスマートフォンアプリケーションにおいても、十分なセキュリティ対策がなされず危険な状態のままリリースされるケースも多く、見落とされたセキュリティホールが重大なインシデントに繋がる危険性を孕んでいます。一方で、スマートフォンアプリケーションを開発する側もセキュリティに対するノウハウ不足や、深刻なセキュリティ人材の不足により対策を打ちたくても打てない現状があります。

このような状況を受け、長年に渡る Web アプリケーションの脆弱性診断で培ったノウハウを活かし、EG セキュアソリューションズは、EC やゲーム、金融関連のスマートフォンアプリケーションを開発している企業を対象に「スマートフォンアプリケーション脆弱性診断」の提供を開始する運びとなりました。専用の解析用 PC を用いた、スマートフォンアプリケーションおよび連携サーバの API に対するリモート診断が特長で、ソースコード診断や Unity 等のサードパーティ環境の診断にも対応しております。また、豊富な診断項目を設定し、セキュア開発の視点も盛り込んだきめ細かい診断を実現することにより、高度な技術を要し、高い安全性が求められるアプリケーションを含めた多種多様なアプリケーションの診断を可能にいたしました。

【「スマートフォンアプリケーション脆弱性診断」概要】

専用の解析用 PC を用いて、スマートフォンアプリケーション並びに連携しているサーバの API に対して、インターネット経由で脆弱性診断を実施します。

■診断方法

・API の診断

　-スマートフォンからインターネット経由で API にアクセスしてブラックボックスで API を診断

・静的解析

　-スマートフォンアプリケーション開発の経験があるエンジニアにより目視でソースコードを診断

・動的解析

　-専用の PC で実行プログラムを動作させ、不正な動作を調査

-デバッガーを用いてプロセスアタッチを行い、アプリケーションのリソースを解析

-逆アセンブルを行いソースコードを解析

■サービス特長

・ソースコード診断に対応

-Android の Java 言語、iOS の Objective-C 言語、Swift 言語に対応

・きめ細かい診断項目

-ハッカーの視点だけではなく、セキュア開発の観点も盛り込んだ、きめ細かい診断を実施

・高度なリバースエンジニアリング

-Java 言語だけではなく、アセンブラ言語での解析が可能

・Unity 等のサードパーティ環境にも対応

-クロスプラットフォーム環境で構築されたアプリケーションにも対応

【スマートフォンアプリケーション脆弱性診断　診断項目①】

○：動的解析で診断できる項目

△：静的解析で診断すると精度よく検出できる項目（動的診断でも可）

―：機能がないため診断対象外の項目

カテゴリ	診断項目	iOS	Android
データ保護	アカウント情報の保護	○	○
	アプリケーションログ	△	○
	キーボードキャッシュの無効化	○	○
	クリップボードの許可状況	○	○
	パスワードやPINの画面表示	○	○
	OSバックアップファイルへの機密データ出力	△	―
	共有ファイルの利用状況	○	○
	キャッシュファイルの利用状況	○	○
	最低限のパーミッション設定	○	○
	機密データ利用目的への説明	○	○
	機密データのメモリロードと破棄状況	△	○
暗号化	暗号化キーのハードコーディング	△	○
	脆弱な暗号化方式の採用	△	○
	脆弱な暗号化アルゴリズムの利用	△	△
	暗号化キーの使いまわし	△	△
	乱数ジェネレーターの強度	△	△

【スマートフォンアプリケーション脆弱性診断　診断項目②】

カテゴリ	診断項目	iOS	Android
認証とセッション管理	認証処理の不備	△	△
	セッションIDの生成方法	○	○
	ログアウト	○	○
	パスワードポリシー	○	○
	不適切なバイオメトリクス認証の実装	△	―
	ログイン通知機能の不備	○	○
ネットワーク通信	TLSの利用	△	△
	SSL証明書の検証不備	△	△
	証明書ストアの利用方法	△	○
プラットフォームAPI	不要なAPIの使用	※1	○
	データ入力値へのチェック処理	○	○
	カスタムスキームの利用状況	○	○
	危険なスキームの利用	○	○
	WebViewのJavascriptアクセス	―	○
	危険なIMEIやUUIDの利用方法	△	△
	危険なシリアル化APIの使用	△	△

【スマートフォンアプリケーション脆弱性診断　診断項目③】

カテゴリ	診断項目	iOS	Android
プログラムコードとビルド設定	不適切なプロビジョニング	○	―
	デバッグモードの有効化	△	△
	デバッグシンボルの削除状況	△	○
	利用コンポーネントの既知の脆弱性	△	△
	エラーハンドリング状況	○	○
	セキュリティコントロールのエラー設定状況	○	―
	メモリリークやメモリ保護の状況	△	△
	スタック保護やPIEサポートの設定状況	△	△
リバースエンジニアリング	不適切なRootチェック	○	○
	不適切なエミュレータチェック	○	○
	機密データのメモリへの直接ロード	△	△
	データ改ざん検知機能の有無	○	○
	リバースエンジニアリングツールの検知	○	○
	デバッグプロトコルの許可状況	△	△
	プログラムコードの難読化	○	○
サーバーAPI	※ Webアプリケーション脆弱性診断の診断項目を参照のこと		

今後も、イー・ガーディアンは、ミッションである「We Guard All」の実現に向け、人々の生活をより便利に、豊かにするサービスの開発に尽力して参ります。

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。イー・ガーディアンは投稿監視、風評調査、ソーシャルリスニングのリーディングカンパニーとして、導入実績 800 社以上の基盤を誇る総合ネットセキュリティ企業です。事業領域は年々拡大しており、ゲームサポートやアド・プロセス、そして子会社化した EG セキュアソリューションズ株式会社との連携によるサイバーセキュリティ分野まで幅広く提案が可能。センターは、提携先をふくめてグループで国内 5 都市海外 8 都市 19 拠点の業界最大級の規模を有します。

■EG セキュアソリューションズ　会社概要

代表者　　：代表取締役　徳丸　浩
所在地　　：東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 5F
設立　　：2008 年 4 月
資本金　　：500 万円（2017 年 9 月末現在）
業務内容　：1.情報セキュリティ、情報システムに関する監査、コンサルティング
2.情報セキュリティに関する調査、研究、執筆、教育
3.情報セキュリティ関連の教育及びコンテンツ制作
4.コンピュータシステムの企画、設計、開発、保守、販売
URL　　：https://www.eg-secure.co.jp/

■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者　　：代表取締役社長　高谷 康久
所在地　　：東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F
設立　　：1998 年 5 月
資本金　　：36,428 万円（2017 年 9 月末現在）
業務内容　：ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業務
URL　　：http://www.e-guardian.co.jp/